

～～第8258回～～

大天井岳

～H29. 8. 27～30～

1 日目：県下一斉に防災訓練があったので、午後、焼津を出た。新東名、R52、中部横断道、中央高速、長野自道を經由して安曇野の穂高神社へ。その登山者用無料駐車場からタクシーで中房温泉へ。(タクシー7700円、宿泊9800円)中房温泉には日本秘湯を守る会の宿らしく、源泉を持ち、内風呂、足湯、露天風呂、混浴や貸切風呂がある。

2 日目：合戦尾根を登る。途中、第一ベンチの冷たい水場と合戦小屋で冷たくて甘いスイカ(800円)食べて長めの休憩をとり、北アルプスの3大急登も問題なくクリアした。燕山荘(宿泊10000円)に着いて、休憩後、燕岳に行き、更に北側の北燕岳まで足を延ばした。夕食時、燕山荘の主人が登山のルールとマナーについてお話をされた。①雨の中と汗を流しながらの登山は危険。地上気温が30℃でも、高度3000mでは、12℃となり、更に風速10mだと体感温度は2℃にも下がり低体温症で死に陥る。②11月末、例年だと燕山荘は雪に覆われるが、去年は全く積雪が無く、地球温暖化が明瞭になっている気がする。一人ひとり温暖化防止に協力して欲しい。という言葉が特に印象に残った。

3 日目：待望の表銀座縦走コース。雨は無かったが雲底が3000mで、槍ヶ岳は雲で晴れたり掛かったり、まあまあの眺め、切通岩から大天荘までの高度差200mの登りが最大、対岸の穂高連峰の峰々の名を地図で確認しながらの尾根歩きは、感動的だった。常念小屋(宿泊9800円)は、最後の山小屋泊となるので、談話室で持ち寄りのおつまみで反省会。(ご馳走様！)

4 日目：深夜から雨になり、止みそうもない。参加者全員常念岳経験者だったので、燕山荘の主人の「雨の中の登山…」を忠実に守り、登頂を断念して一ノ沢へ下山した。出発時、小屋でタクシー予約票に記入をすると、登山口までタクシーが来てくれる。常念乗越から胸突八丁を過ぎて笠原沢の出合までは急な下り、次の王滝ベンチまでは並みの下り、そこから一ノ沢の登山口はなだらかな下りである。何度か川を渡るが、丸太木を4～5本並べただけの橋だが、多少の雨でも支障ないそうだ。王滝ベンチで大休憩し、私を除く全員の非常食を全部出し合って、みんなの胃袋に処分した。(ご馳走様！)一ノ沢から穂高神社までタクシー(4800円)で戻り、帰途に就いた。途中、温泉で汗を流し、土産を買って無事焼津に帰った。走行距離480km、高速代7300円でした。お花は、コマクサは終わりに近かったが、房状のチングルマ、青いリンドウやトリカブトが目立って、まだまだ楽しめた。雷鳥は見れなかったが、イワヒバリが恐れる様子もなく近づいて来て、写真を撮らせてくれた。

参加者：4名(焼津3、藤枝1)

天候：①曇、②曇、③曇、④雨

地図：槍ヶ岳・信濃小倉・穂高岳

コースタイム：①焼津1330＝穂高神社1700＝中房温泉1800②中房温泉735…合戦小屋

1045-1115…燕山荘 1245-1410…燕岳 1440…北燕岳 1510-20…燕山荘 1620③燕山荘 630
…蛙岩 710…大下りの頭 730-40…切通岩 915…大天荘 1000…大天井岳 1020-30…大天荘
1040-1135…東大天井岳 1235…横通岳 1350…常念小屋 1440④常念小屋 700…胸突八丁
810…大滝ベンチ 945…一ノ沢 1110=穂高神社 1220=焼津 1800

記録：焼津支部 伏見